

～紀宝町鮎田地区の取り組み～

～紀南河川国道事務所～

鮎田地区では、台風接近時などに住民がとるべき行動を防災タイムライン(事前防災行動計画)にまとめています。

さらに、防災タイムラインを住民にとってより分かりやすくかつ使いやすいものとするため、また、防災行動を普段から身近なものとしてイメージしてもらうことで災害時でも落ち着いて防災行動がとれるよう、普段の生活行動と結びつけた「生活防災タイムライン」の作成を目指し、ワークショップを定期的に行っています。

ワークショップでは、普段の生活行動として、地域住民による「散歩」と「料理」を実施しています。

- 日時: 令和元年12月15日(日) 9:00～12:30
- 場所: 鮎田構造改善センター
- 参加者: 紀宝町鮎田地区住民等(20名)

位置図



鮎田地区 生活防災タイムライン

生活防災タイムラインとは

生活防災タイムラインは、日常生活と防災タイムライン(事前防災行動計画)を結びつけ、地域や生活に合わせて、無理なく防災タイムラインへの意識を高めます。

少子高齢化が進む中で、防災の観点から地域防災を行うことが難しい地域も多く存在しています。生活防災タイムラインでは、散歩や料理、畑作業や釣りなど、普段の生活を防災タイムラインと関連づけ、地域の活性化にみんなで取り組みます。

大阪工業大学と京都大学防災研究所が鮎田地区の皆さんと一緒に、生活防災タイムラインの研究に取り組んでいます。

「散歩」の様子

自分のペースで歩いてください。
避難ルートも覚えましょう(散歩リーダー)



大水害の時は、このあたりまで水がきました。(区長)



「料理」の様子



メニューは「簡単コロッケ」と「高野豆腐の煮物です」
災害時でも作りやすいよう油は使いません。(料理リーダー)



参加者による「ふりかえり」



これまでの「散歩」「料理」の取り組みについて感想を記入

イベントを通して防災意識がどう変化したか、今後まとめていきましょう。(講師)



参加者の感想

(良かった点)

- ・近所のいろいろな人とコミュニケーションをとることができた。
- ・自分の体力でも歩けるようなコースで、ちょうどよい運動をする機会ができた。
- ・ポリ袋を使った料理など、災害時でも簡単においしい料理を作れることができて参考になった。

(課題・改善点)

- ・より多くの人に参加してもらえよう、イベント内容を工夫していきたい。
- ・イベントを通して防災への意識がどの様に変化しているか、今後とりまとめていきましょう。